



どうだんっっじ

満天星

第5号 令和7年8月28日



QRコード
智頭小学校ホーム
ページへアクセス

～ 地域と共にある学校 智頭小学校 ～

校長 池井 康二

40日間という長い夏休みが終わり、子供たちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。

8月17日（日）に行われました環境整備では、保護者の皆様のおかげで、学校の内外の環境が美しく整いました。また、環境整備の前には、地域のボランティアの皆様により草刈りを行っていただき、校地周辺がとてもすっきりとしました。地域・保護者の皆様により整えていただいた環境で、2学期も充実した学校運営を行っていききたいと思います。準備をいただいた役員の皆様をはじめ、ご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



さて、今年の夏も異常なほどの暑い日が続き、始業式を迎えてもなお真夏のような状況です。今後も、学習時間のみならず、登下校時も熱中症に気をつけたいところです。

非常に暑い夏ではありましたが、今年もまた、全国高等学校野球選手権大会が兵庫県の甲子園球場で開催され、高校生のはつらつとしたプレーが展開されました。鳥取県のチームは残念ながら1回戦で姿を消してしまいましたが、縁のないチームであっても、つい高校生のひたむきなプレーには引き込まれるものがあり、時間が許す限りテレビに見入ってしまいました。

中でも今年度大きな話題となったのは、岐阜県立岐阜商業高等学校ではないでしょうか。テレビなどでは、生まれつき左手の指がないという野球におけるハンディキャップを、たゆまぬ努力と工夫で乗り越え、見事強豪校のスタメンに抜擢された横山温大選手の感動秘話が大きく取り上げられていました。その努力と家族の協力をすることで、一つ一つのプレーに引き込まれてしまいました。しかし、県立岐阜商業の素晴らしさは、一人のヒーローだけによるものではありません。それぞれの選手がチームメイトや対戦相手に見せた紳士的なふるまい、また、日頃の地域とのつながりや地域貢献による地元との深く強固な結びつきなど、野球の枠にとどまらない人間的な価値によるものと思われます。日本高等学校野球連盟では、「フェアプレー」（スポーツマンシップ）、「友情」（選手同士の絆）、「闘志」（最後まであきらめず戦う精神）を理念としています。高校野球は、単に野球が強ければよい、勝てればよいというのではなく、教育の一環であるとしています。だからこそ、わが母校やわが郷土のチームではなくても、チームや選手の背景が、見る人に大きな感動を与えるのでしょうか。



いよいよ2学期が始まりました。1年の内で最も長い2学期は、学習面でも行事面でも多くの場面で児童の成長を促すよい時期です。特に2学期は、どの学年でも地域とのつながりを大切にされた生活科や、総合的な学習の時間が展開されます。特に6年生では、中学校2年生につながる「ちづNEXT」の学習を通じて、智頭の明日に向かって具体的な提言と行動を考えていきます。先述の県立岐阜商業では、勝ち進むにつれて、高額となる選手の出場経費や応援団の交通費などをクラウドファンディングで募ったところ、多くの寄付が集まったとのことでした。智頭小学校でも、日頃の地域とのつながりを大切にすることで、学習の際に地域の協力が得られるよう、地域と共にある学校であり続けたいと思います。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

PTA 活動レポート

資源回収と愛校奉仕作業にご協力いただきありがとうございました。子供たちの学校生活をより良くするため、保護者と地域、一体となって活動していただきました。今後も、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小中合同資源回収



愛校奉仕作業



8月3日 校舎裏の草刈りの様子



校舎裏溝さらえ



校庭草取り



校舎内の窓拭き



夏季休業中の研修より

ちづ保育園公開保育



7月29日(火)、ちづ保育園で保小中合同保育研修が行われました。保育参観、初瀬参事の講演、グループ討議と盛りだくさんな内容でした。



人権教育研修

8月20日(水)、田中教育長を講師にお招きし、「一人一人の人権感覚を磨く～部落差別の歴史と事象に学ぶ～」として研修会を開催しました。実際の事例や文献を通じて、理解を深める貴重な機会となりました。



2学期スタートにあたって

長い夏休みが終わり、学校生活のリズムに戻る時期は、体調がすぐれなかったり、学校に行くことをためらったりと、心や体の調子を崩してしまうことも少なくありません。もし、お子様の様子で少しでも気になることがございましたら、どうか遠慮なく、まずは連絡帳などを通じて担任にご相談ください。学校とご家庭が手を取り合い、お子様が安心して学校生活を送れるよう、一緒に見守っていきたいと思います。

